

くらしき  
マメ知識

**「水球のまち倉敷」**  
**東京2020オリンピック水球競技女子日本代表（ポセイドンジャパン）が倉敷で事前キャンプを行います！**

倉敷市が「水球のまち」だということをご存知ですか？毎年開催している、将来の日本代表を目指す選手たちの登竜門、全日本ユース（U15）水球競技選手権大会「桃太郎カップ」をはじめ、2016年の全国高等学校総合体育大会（インターハイ）水球競技の開催、2017年にはポセイドンジャパンへのオフィシャルスーツ提供など、水球競技の普及・PRに取り組んできました。

そして、東京2020オリンピックに出場する女子日本代表が、1月に事前キャンプを行います。水球のまち倉敷で力を蓄えた、ポセイドンジャパンの活躍にご注目ください！



▲桃太郎カップに向け練習する、岡山県選抜男子



**歴史と文学のまち、真備**  
 奈良時代の偉人「吉備真備公」ゆかりの地であり、作家・横溝正史が、名探偵「金田一耕助」を生み出したまち。

**果物と花のまち、船穂**  
 温暖な気候と、高梁川の豊かな水を生かし、マスカットやスイートビーなどの栽培が盛んなまち。

**大原美術館**  
 倉敷の実業家・大原孫三郎が、洋画家・児島虎次郎に託して収集した、西洋美術などを展示する日本初の私立西洋美術館。

**倉敷美観地区**  
 天領として栄えた時代の風情と美しい景観を色濃く残すまち。

**国産ジーンズ発祥の地、児島**  
 足袋・学生服・作業服と、繊維のまちとして発展し、日本で初めてジーンズを国産化しました。全国のジーンズファンからの注目を集めています。

**水島コンビナート**  
 瀬戸内海に臨む、約2500haの空間に、250を超える事業所が立地する水島コンビナート。美しく光る夜景は「夜景100選」にも選ばれています。

**レトロな港町、玉島**  
 備中の玄関として栄えた港町で、今でも当時の商家や土蔵が残っています。昭和レトロな商店街など、ノスタルジックな町並み散歩も楽しめます。

クラシキ文華新聞 Vol.15  
 平成31年1月吉日発行  
 【編集・発行】  
 クラシキ文華新聞編集部  
 （倉敷市くらしき情報発信課内）  
 〒710-8565  
 岡山県倉敷市西中新田 640  
 TEL086-426-3061  
 FAX086-426-4095  
 pubinfo@city.kurashiki.okayama.jp

WEBもチェック！  
**クラシキ文華**  
<http://citysales.city.kurashiki.okayama.jp/>  
 クラシキ文華 検索  
 倉敷市公式 Facebook  
<https://www.facebook.com/KurashikiCity>  
 倉敷市公式 Instagram  
[https://www.instagram.com/kurashiki\\_city/](https://www.instagram.com/kurashiki_city/)

**編集後記**  
 平成30年7月豪雨の発災から半年が経とうとしています。たくさんの方々のご支援をいただきながら、復旧・復興へ向けて全力で取り組んでいます。落ち込んでいた観光客数も回復してきました。皆さんが倉敷に来てくださることに、前にも進むことができます。これからも引き続き、ご支援をよろしくお願い致します！（安藤・村上）

# クラシキ文華新聞

Vol. 15

## 第15号発行のご挨拶



岡山県南部に位置する、倉敷市一。町家や古民家を利用した新たな観光スポットが次々と生まれている「倉敷美観地区」、日本初の私立西洋美術館である「大原美術館」、繊維産業を進化させてきた「国産ジーンズ発祥の地・児島」など、歴史と伝統が常にアップデートされ、新しい文化「クラシキ文華」が華開いています。平成30年7月、未曾有の豪雨災害が倉敷市を襲いました。全国の皆さまからのご支援を受け、復興に取り組む倉敷市の元氣な姿と、「クラシキ文華」の魅力をお伝える「クラシキ文華新聞」第15号をお届けします。ぜひ、ご一読ください。



クラシキの **こだわり 本屋さん** 特集

本だけでなく、店内を流れるゆったりとした時間も楽しめる、倉敷の個性豊かな本屋さんをご紹介します！



### 倉敷美観地区にひっそりと佇む古書店 虫文庫

倉敷美観地区の本町通りにひっそりと佇む、古書店の「虫文庫」。建物は、煎餅屋が営まれていたこともある、築100年以上の民家です。わずか8坪ほどの店内に、文学や社会、自然科学など、多様なジャンルの古書およそ6,000冊が並んでいます。店主の田中美穂さんは、「いろんな時代のいろんな本があるけれど、もう一度読みたいという人がいる本しか残っていかない。そういう意味では、歴史ある倉敷というまちと古本屋は相性がいいのかも知れません」と話します。

田中さんは25年前、失業をきっかけに古書店を開くことを思い付き、JR倉敷駅の近くで開業。その6年後、最初に店探しをした時に「こんなところで古本屋ができたらいいな」と思いつつもあきらめた現在の物件と縁があり、引っ越しました。

田中さんは10年ほど前から、大好きな苔や亀などにまつわる著書を世に出してきました。それにより、「苔愛好家の女性店主の店」として虫文庫は全国的に知られるようになりました。

倉敷美観地区の中とはいえ、店内はとても静か。「通っていた幼稚園や小学校がすぐ近くにあるし、この通りは子どもの頃よく遊びにきていました。古くからの友人も多くいます。倉敷美観地区は特別な場所という認識はありますが、私にとっては日常の場所なんです」。店の奥にある2坪ほどの畳敷きの帳場に座り、お客と本の訪れを待つ田中さん。「この仕事はびっくりするほど儲かりません」と苦笑します。時間さえゆっくりと流れるかのように穏やかな空間には、思わぬ一冊との出会いが待っているかもしれません。





国内はもとより海外でも人気の、児島のデニムメーカー「KAPITAL」。旧児島公民館の建物を再利用した直営店「KAPITAL 瀬戸内児島<sup>そほ</sup>店」内に、「SOHO BOOKS」があります。隣接する旧児島図書館（現本社兼工場）で使われていた木枠のガラスケースや、木製の書棚、カードや書籍のページを利用して作られたランプシェード…。どこか懐かしさを感じる店内には、写真集をはじめとするアート系の洋書や、芸能、文学、音楽などの雑誌、文庫本といった和書の数々が並んでいます。それらの大半は、「一冊の本を売る書店」として注目されている、東京の「森岡書店銀座店」の店主・森岡<sup>よしゆき</sup>督行さんが、KAPITALの世界観に合わせセレクトしたものです。

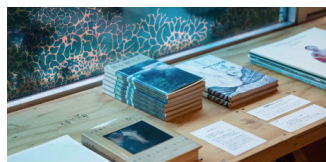
日本の古語で赤土色を意味する「赭」は、建物の外観の色に因んでいます。加えて「私たちのクリエイションに欠かすことの出来ない、ネイティブアメリカンのアドビハウスにも通じる色」と、店舗責任者の山本謙次さん。さらに、「そほ」という古典的な和の風情を感じさせる音と、前衛的なイメージを与える「SOHO」の響きは、彼らの創作の根源である温故知新の精神を象徴しています。

「かつてこの場所が図書館や公民館だった頃は、多くの人たちが集まって楽しんでいました。だからこそ、キャピタル流で人が集う場所に、児島を盛り上げていきたい」と山本さん。これまでに県内外の古書店が集まる古本市や、蚤の市を思わせる「赭市」などのイベントを中庭で開催してきました。児島をこよなく愛するスタッフたちの思いが詰まった「SOHO BOOKS」。ここだからこそ出合える一冊を探してみたいかがでしょう。



古書店らしからぬ空間で選書と出会う

## KAPITAL 瀬戸内児島<sup>そほ</sup>店 SOHO BOOKS



「つづきの絵本屋」は、JR 倉敷駅にほど近い住宅街の一角にある絵本専門店です。木をふんだんに使った優しく温かみのある店内には、誰もが知るロングセラーから新刊まで多種多様な絵本がそろっています。また喫茶メニューとして、約10種の紅茶とお手製の焼き菓子が用意されています。店主は、公共・大学・小学校の図書館で長年、司書を務めてきた都築照代さん。都築さんは、2016年に家族と倉敷に移り住みました。絵本は図書の分類上では「絵」。名画をゆったりと鑑賞できる大原美術館などがあり、文化的な薫りがする倉敷は、絵本にぴったりのまちだと都築さんはいいます。

「時代の流れか、子どもだけでなく大人も本を選べなくなっていて、『僕の一冊』『私の一冊』に出合えていない方が多いと感じています。お客さまの話をじっくり伺って、その一人ひとりがめくるたびに「つづき」が読みたくなる一冊を、丁寧に選んで手渡していきたい」。店名の「つづき」には、そんな思いも込められています。

知らない者同士が絵本をきっかけに出会える場、絵本作家と出会える場にしようと、都築さんは、大人のための「えほん夜会」などのイベントや、絵本ライブ・ギャラリートークのために店を訪れる絵本作家の原画展を、店内のギャラリーで開催しています。「スピードが求められる時代ですが、時には、親子でじっくり絵本を楽しむんだり、ゆっくりとお茶を飲んだり、倉敷ではあまり目にすることのない絵本作家の原画を鑑賞したり…。そうして、穏やかで豊かな気持ちになってもらえる場にしていきたい」。都築さんの願いです。



文化的な薫りがする倉敷は絵本にぴったりのまち

## つづきの絵本屋



▲11月24日、名探偵・金田一耕助誕生の地である真備地区で、恒例の仮装イベント「1000人の金田一耕助」が開かれた。金田一に扮した約120人がまちを練り歩き、真備に元気を届けた。

▶11月18日、真備公民館箭田分館で開催された箭田文化祭で、箭田小学校5年生の子どもたちによる餅つきの体験学習が行われた。ついた餅は、来場者に振る舞われた。



## まび復興ニュース



▲12月5日、プロ野球・巨人軍の長野久義選手ら6人が真備地区の小学校を慰問し、子どもたちとキャッチボールをしたり、給食を食べたりして交流した。

▼12月4日、県立倉敷商業高校書道部が、被災者へ向けたメッセージを揮毫した作品「今を生きる」が、倉敷市役所市民ホールに飾られた。



## クラシキのイベント

これからの季節にぴったりの花言葉を添えて…  
船穂スイートピー記念日のイベント

スイートピーの全国有数の産地、倉敷市船穂地区。岡山県は、スイートピーの出荷生産量全国第3位で、船穂地区の生産量は、その8割を占めています。南向きの傾斜面を有効に活用した施設で栽培するため、十分な日照の確保と効率の良い換気が行え、品質の高い花を安定的に出荷しています。船穂地区のスイートピーは、大きな花弁としっかりとした軸を持ち、美しさや花もちのよさが特長。花の色は、なんと約50色も！

1月27日は「い〜ふなお(良い船穂)」と読む語呂合わせから、船穂スイートピー記念日と定められていて、毎年記念日に合わせ、PRイベントを開催しています。「門出」や「旅立ち」などの花言葉を持つスイートピーは、これからの季節にぴったり！

- ◆スイートピーが当たる「**展示・クイズ・販売**」… 1月25日(金)～27日(日)
- ◆**スイートピーフラワーアレンジメント講座**… 1月25日(金)
- ◆栽培ハウスでの「**スイートピーものしり講座**」… 1月27日(日)



ちょっぴり贅沢なひとときをあなたに！

倉敷アフタヌーンティー  
～ WINTER version

イギリス発祥の喫茶習慣で、紅茶とともに軽食やスイーツを楽しむ優雅なお茶会「アフタヌーンティー」。貴族のご婦人たちの間で社交の



場として広まったのが始まりといわれており、日本の茶道に近い存在ともいえます。そんなアフタヌーンティーを、倉敷では、県産のイチゴとドリンクにこだわった「倉敷アフタヌーンティー～ WINTER version」としてご用意しました。お店毎に特色あふれる期間限定メニューは、まち歩きなどで冷えた体を温め、気持ちもほっこり。ちょっぴり贅沢なティータイムをお過ごしください。

- 期間…1月15日(火)～3月15日(金)
- 場所…市内25店舗

| イベント    | 日程                    | 場所                           | 内容                                                           |
|---------|-----------------------|------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 倉敷雛めぐり  | 2月23日(土)～3月10日(日)     | 倉敷市内の商店街・ギャラリー・旅館・ホテル・文化施設など | 本格的な段飾りや内裏雛、御殿雛、木彫り・陶器・備前焼の雛、江戸時代の古今雛、地元幼稚園児による創作雛など         |
| 倉敷春宵あかり | 3月9日(土)・16日(土)・17日(日) | 倉敷美観地区一帯                     | 和の明かりが町並みを彩る。和傘あかり・あんどん・スイートピーあかり・影絵あかり・倉敷川に浮かべる「夢桜」・復興あかりなど |

イベント情報は、[f](https://www.facebook.com/KurashikiCity)倉敷市公式 Facebook (https://www.facebook.com/KurashikiCity) でも紹介しています！